

## 第7回 全国版 子どもの集い・交流会のアンケート結果

### 1. 参加状況

参加者数：27名

アンケート協力者：24名分 回収率：92.6%

年齢：20代…5名、30代…9名、40代…4名、50代…6名

性別：女性…18名、男性…4名、未記入…2名

参加地域：東海…13名、関東…5名、近畿…4名、中国…1名、四国…1名

参加回数：初回…11名、2回目…6名、3回以上…7名、不明…1名

参加形態：午前のみ…2名、午後のみ…2名、午前・午後…20名

親の診断名：統合失調症…18名、うつ病…3名、躁うつ病…1名、アルコール障害…1名、パーソナリティ障害…1名、解離性同一性障害…1名、薬物依存…1名、強迫性障害…1名、未診断・不明…1名（重複回答あり）

### 2. 参加動機

- ・生きづらさ、親との心理的な距離の保ち方など、皆さんはどうしているか知りたかった。
- ・今の自分の生きづらさに対するヒントが欲しかった。
- ・同じ立場の方とのつながり作り。
- ・どのようなサポートがあるのか知りたい。
- ・以前、参加して良かったので今年も参加しようと思った。
- ・普段出会えない同じ立場の方と出会える機会が貴重。
- ・さまざまな方の話を聞き、私生活や仕事に生かしたいと思った。

### 3. 集いの満足度とその理由

▶40～69%：2名

- ・自分の悩みを話せたのは良かったが、もう少し議論を深めたかった。他の人がどう向き合ってきたか聞きたかった。

▶70～99%：12名

- ・話しやすい雰囲気が良かった。
- ・新しい出会いや再会があり、お話しできて良かった。
- ・子どもの立場の人同士で交流できて良かった。話を聞けるのは、自分の体験しかないので学びになる。
- ・午後の分かち合いで自分の思いを語れ、受け止めてもらえた。
- ・午後のグループ別の時間が少し短く感じた。
- ・予定の講演会はなかったものの、会のスタッフの講演があり良かった。それぞれの職種が何をされているのか知ることができた。
- ・満足しすぎると次がなくなるから。
- ・スタッフの暖かさが伝わった。

▶100%以上：10名

- ・安心が確保された場所で本来の自分を出せた。
- ・楽しいと思えたから。

- ・今まで話せなかった自分の思いを話すことができたこと、自分と同じ立場の人といろいろ話ができることがよかった。
- ・久しぶりにお会いした人たちと話したり、何の立場でもなく自分として話せた。
- ・午前は講演がなくても参考になる話を聞いて良かった。午後もしラックスして話ができスッキリした。
- ・スタッフの日頃の活動や心理士の話をじっくり聞いて良かった。特に思い込みについての話は参考になった。

#### 4. 午前の部「それぞれの立場（職種）からの話題提供」の感想

- ・講師の先生でなかったのは残念ですが、今までお世話になっている先生方の仕事内容が聞いて良かった。
- ・会を立ち上げるきっかけや、会を主催するスタッフの心がけが知れて、より安心度が高まった。
- ・なかなか聴くことのできない専門職の話は興味深く、普及啓発の苦労や日常の業務の何でもないうことも勉強になった。
- ・ざっくばらんな雰囲気の中でも継続してこの活動に取り組んで見える熱心さを感じ、ありがたく、ほっとできた。
- ・それぞれの職種の方がたくさん考え、たくさん行動していて嬉しくなった。昔よりも救われる子どもはたくさんいると思った。
- ・立場や職種でどんな役割をしているのかがわかって今後の参考になった。心理の先生の話は、気持ちが少し楽になった。
- ・スライド資料もいただきたかった。
- ・専門職の立場からの紹介は参考になったが、家族心理学等、専門的な内容で少し難しかった。
- ・学校に通っている学生への支援の話に時間を使っていたように思う。地域のサポートの話聞きたかった。
- ・時間的に4人より2人など1人の方の話をじっくり聞きたかった。
- ・間に小休止の時間があればよかった。
- ・せっかくの子どもの集いなので、同じ子どもの立場の話が聞きたい。

#### 5. 午後の部「小グループでの語りあい」の感想

- ・グループの大きさ（4～5人）は人数が大きすぎず、少なすぎず、ちょうどよかった。3回目の参加で、以前よりリラックスできたので、他の方のお話がしっかり聞いて良かった。
- ・もう少しグループの人数が多い方が良かった。4人＋スタッフ2名だったが、7人＋スタッフ2名ぐらいが良かった。
- ・時間を区切って前半・後半に分けて話せた方がもっといろいろな人と話せたと思う。
- ・1つ1つの机の距離が離れていたため、声がかき消されずに集中できた。
- ・話しやすい雰囲気で、皆さんといろいろな話のできたので嬉しかった。
- ・お菓子やお茶を飲みながら良かった。
- ・バランスよく発言でき、参加者それぞれの意見を出すことができた。
- ・胸にぐっとくるような壮絶な過去の話に泣きそうになった。皆も頑張っている、そう思うことができる貴重な集い。皆が自分を大切にできるように、過去を受け入れ、自分の人生を少しでも幸せに生きてもらいたいと祈る気持ち。

- ・気づきがあったり話すことで整理できることもあってよかった。
- ・皆さんの話を聞いて、皆いろんな思いで生きてるんだと思った。何かしら悲しみを抱えながらも必死に幸せを目指しているのは自分だけではないんだとわかった気がする。
- ・いろいろな話が出来てホッとしてすごく嬉しい気持ちになった。新しくお話した方とも意外と話ができて、有意義で落ち着く良いひとときだった。
- ・安心感がある筈なのになぜか違和感を感じた。直接に親と関わりを持っていない、ケアラーではない自分が参加しても良いのか不安になった。あまり親のことをわかっていない自分を申し訳なく思う。

## 6. 今後の要望

- ・吉川先生のお話を聞きたい。病気の親を持つ子どもの配偶者のお話も聞いてみたい。
- ・地域包括支援センターなど地域の支援は県内でとどまっているように見える。県をまたいだサービスがあれば知りたい。
- ・精神保健福祉法など、法制度について解説を聞くことができると嬉しい。
- ・子どもの立場の人が大人になって、どうやって生きているのか。診断はつかないが、狭間で生きている家族や子どもの支援について聞きたい。
- ・精神障害のある親がいる子どもが親の存在をどうとらえているか、考えればよいかを考えるプログラム
- ・自他境界の保ち方
- ・統合失調症について、もっと詳しく知りたい。
- ・メリデン版家族支援についての講演
- ・今回みたいなスタッフさんの話。
- ・本日の心理士の先生の話で気持ちが軽くなったので、次回からも短時間で良いので話が聞けるとリラックスできるのではないかな。

## 7. その他

- ・全員でBBQがしたい
- ・長く続けていただきたい。
- ・今までと同じ感じで進めてほしい。今の雰囲気が好き。
- ・法曹関係者もスタッフに加えることができると厚みが増すと思う。
- ・このような取り組みが他の地域にも普及していくことを期待する。
- ・愛知県に子ども支援の会がないのが残念。興味を持っている医療関係者もいるとは思っているので、広報活動して情報発信してもらえるとありがたい。
- ・スタッフの方の取り組みやスタッフの活動場所などを一覧にして教えてほしい。
- ・予定の変更等全く気にならないいつも通りホッとする集いだった。スタッフ（専門職）話は、普段聞けそうで聞けない話だったと思う。